

川上村の郷(まち)づくりについて



「都市にはない豊かな暮らしの実現」

～水源地の村づくり～

平成29年2月16日

川 上 村



川上村の郷(まち)づくりについて

郷(まち)づくりのテーマ

「仕事づくり」×「魅力づくり」×「住まいづくり」
「仕組みづくり」・「役割づくり」・「コミュニティづくり」

『都市にはない豊かな暮らし』の実現

郷(まち)づくりの進め方

2つのネットワーク圏を形成した新しい郷(まち)づくり

西部地区プロジェクト区域 → **にぎわいと仕事**の郷(まち)づくり

東部地区プロジェクト区域 → **暮らしつづける**郷(まち)づくり

2つの郷(まち)づくりエリア

西部地区プロジェクト区域

川上村

村全体の
活性化

①西部産業・観光拠点周辺地区

東部地区プロジェクト区域

にぎわいと仕事の
郷(まち)づくり

②東部暮らしの拠点周辺地区

暮らしつづける
郷(まち)づくり



①西部産業・観光拠点周辺地区

にぎわいと仕事の郷(まち)づくり

現状と課題

- ・木材加工など複数の事業所が稼働している「産業地域」である。林業をはじめとする基幹産業を活性化させる必要がある。
- ・大滝ダム、土倉庄三郎翁磨崖碑などの観光資源が存在している。村外との交流を図り、新たな村の収入につなげるための観光産業を創出する必要がある。
- ・当該地区は、村の入り口に位置しアクセスがよい。雇用の創出に伴い移住者等に対応する住宅等を新たに確保する必要がある。

コンセプト ～「地域の資源を活かした」産業・観光・移住拠点を創出する～

林業を核とした6次産業化により雇用を創出するとともに、観光施設の整備・活用により交流人口の増加を図る。また、多様な住まいを確保することによって、UIターン移住者を呼び込む。

取組イメージ

○仕事の創出

- ・製材施設の新設と既存施設の再整備及び連携による、木材・木製品の一貫供給体制を構築

○観光施設の活用

- ・吉野林業中興の祖である土倉庄三郎翁の磨崖碑等を観光資源として活用
- ・木花等の植栽による景観改善、湖面利用や関連施設の整備

○住まい等の拡充

- ・県教育委員会所管若竹寮の払い下げや旧林業資料館、木匠館等の整備による、単身者や家族のニーズに合わせた移住用住宅や担い手を育成し受け入れる場等の確保

○インフラの整備

- ・産業や観光を支える道路や橋梁等の整備

①西部産業・観光拠点周辺地区 取り組みイメージ図

「地域の資源を活かした」産業・観光・移住拠点を創出

西部産業・観光拠点周辺地区

インフラの整備

・産業や観光を支える道路や橋梁等の整備

仕事の創出

・製材施設の新設と既存施設の再整備及び連携による、木材・木製品の一貫供給体制を構築

住まいの拡充

・遊休中の若竹寮や旧林業資料館、木匠館等の整備による単身者や家族のニーズに合わせた移住用住宅や担い手を育成し受け入れる場の確保

観光施設の活用

・吉野林業中興の祖である土倉庄三郎翁の磨崖碑等を観光資源として活用
・木花等の植栽による景観改善、湖面利用や関連施設の整備

若竹寮(吉野林業高校学生寮)

旧林業資料館

やまいき商店、アルポール他
(販売施設)

土倉庄三郎翁関連施設

大滝ダム周辺(植栽)

国道169号

県道国栖大滝線

林業総合センター
(森林組合作業施設)

木工センター
(家具、小物等生産施設)

木匠館(旧:体験実習宿泊施設)

匠の聚
(文化交流施設)

川上さぶり
(住宅部材等二次製材)

おおたき龍神湖

<協定地区>

東川、西河、大滝、寺尾

②東部暮らしの拠点周辺地区

暮らしつつける郷(まち)づくり

現状と課題

- ・村内でも高齢化率が高く、集落が点在していることから、単独では立ち行かなくなりつつある。日常の買い物など移動手段、福祉・医療サービスなど、日々の暮らしを支える必要がある。また、集落の維持、地域住民の交流や活性化を図る必要がある。
- ・少子高齢化、住民の村外への転出等により、空き家が増加している。空家を活用する必要がある。

コンセプト

～暮らしの拠点を活用した「暮らしがつづく集落づくり」～

住民と村が一緒になって、買い物や娯楽、医療や福祉を提供するための拠点を地域に設けて、「もっと便利に」・「もっと楽しく」・「もっと元気に」をモットーにした「暮らしがつづく集落づくり」を進める。

取組イメージ

- 暮らしの拠点の活用(高齢者が健康で住みつつけられる事業の展開)
 - ・買い物支援(移動スーパーや宅配事業など)や見守り、声かけを行う(一社かわかみらいふ)
 - ・健康教室、福祉や医療サービス(出張診療など)を提供するとともに、地域集落の防災の拠点として活用
 - ・地域住民が集い、住民自らが活動し、楽しく集まる住民主体のコミュニティの場の形成
- 近隣集落と拠点を結ぶ交通ネットワークの構築
 - ・ヘリポート等の確保(災害、緊急医療対応)
- 区域内の空き家の活用、村営住宅や高齢者向けの住宅等を整備

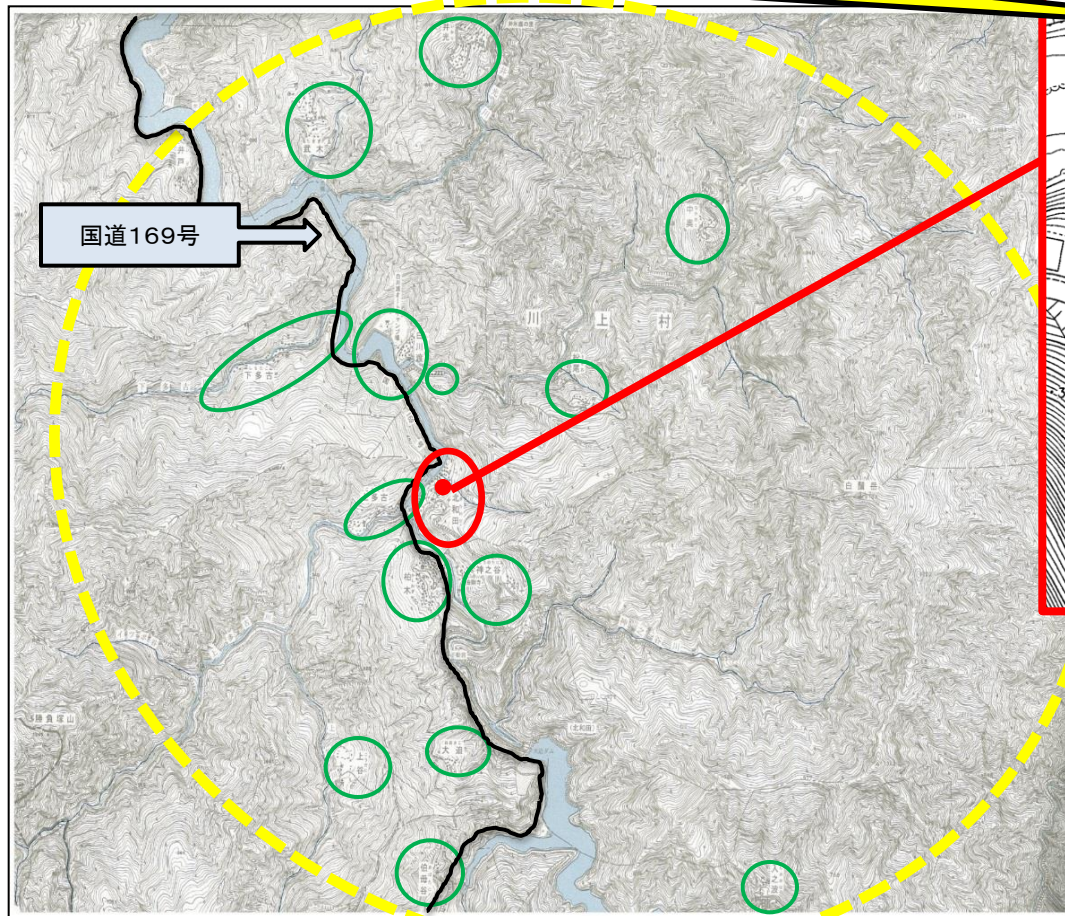
② 東部暮らしの拠点周辺地区 取り組みイメージ図

暮らしの拠点を活用した「暮らしがつづく集落づくり」

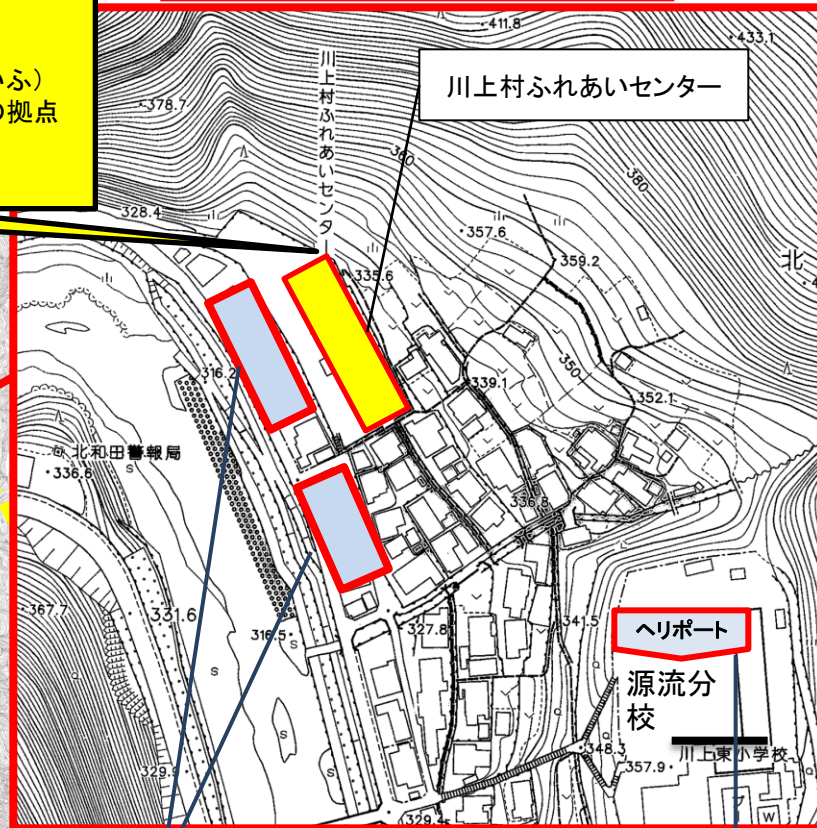
東部暮らしの拠点周辺地区

暮らしの拠点の活用

- ・買い物支援(移動スーパーや宅配事業など)や見守り、声かけを行う(一社かわかみらいふ)
- ・健康教室、福祉や医療サービス(出張診療など)を提供するとともに、地域集落の防災の拠点として活用
- ・地域住民が集い、住民自らが活動し、楽しく集まる住民主体のコミュニティの場の形成



東部地区プロジェクト区域



区域内の空き家の活用、村営住宅や高齢者向けの住宅等を整備

近隣集落と拠点を結ぶ交通ネットワークの構築

＜協定地区＞北和田地区

＜プロジェクト地区＞(集落生活圏)

武木、井光、下多古、白川渡、粉尾、中奥、瀬戸、神之谷、上多古、柏木、上谷、大迫、伯母谷、入之波